

祝辞



衆議院議員
鬼木 誠

「平成三十年記念 福岡県武道大会」のご開催、誠にありがとうございます。
天皇陛下のご退位に伴い感謝の思いを込めて開催されるこの大会であります。企画された西国柳生新影流兵法 錬心館の西田浩三館長及びご関係者の方々に敬意を表したいと思います。流儀、流派の垣根を越えてこのようにたくさん武道家が集まり、開催されましたことは福岡ではあまり例が無いことと聞き及んでおります。まさに平成の御代の最後を飾るに相応しい歴史的な大会になるのではないかと期待をしております。ご

本日の参加団体の名簿を改めて見ますと、様々な種類の武術が福岡県にこうして今も脈々と引き継がれていることに驚かされます。これは皆様方が日頃より、伝統を継承していくためのご努力と、たゆみない鍛錬の賜物であると思えます。こうした伝統は日本にとってはかけがえのない資産であり、そうした伝統を守り育てて頂いている皆様方にも敬意を表したいと思います。さて、鬼木家の先祖は三奈木黒田藩の家老でありました。今日、お集まりの流儀、流派の中には私の先祖も大変親しんだ流儀、流派もあるかもしれません。私も父の影響で小学生の時から剣道を始め、武道の精神に触れてきました。強い身体が強い精神を支えることは、私も武道を通じて体得しました。青少年の健全育成、また、世界に通用する人材育成の為にはこうした日本の武道をはじめとする日本文化の理解や修得が重要であると考えておりますので、私も微力ながらはございますが皆様方の発展の為に協力していきたいと思っております。

国会において、私は「日本会議国会議員懇談会 皇室プロジェクトチーム 事務局長」を仰せつかり、昨年より今上陛下のご退位の問題、また、皇室の継承の問題に取り組んで参りました。皇室を伝統に則った形で未来へ残すことを信条に取り組んでおります。そのような中で地元福岡で今上陛下に感謝を示すこのような大会が開かれることを誇らしく感じております。各流儀、流派の益々のご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。